

3 金大連携サポート

内 容

県内公立学校及びその他の団体※からの依頼に応じて、当センター指導主事とともに金沢大学の先生方が訪問します。教職員を対象に、講義・演習、授業参観等を行い、専門的な見地からの助言を行います。

※その他の団体…県、各郡市町単位の教職員で構成された任意団体

以下の内容は、サポートの対象外となります。

- ・学校の教育課程の編成や学校研究の進め方などに関するもの
- ・教育事務所や学校指導課等の学校訪問の内容に関わるもの
- ・基本研修の模擬授業や指定研究授業等に関わるもの（市町立学校及び県立中学校のみ）
- ・公開研究発表会に関わるものや各種審査等の依頼（サポート以外の手続きが必要）
- ・受講者が教員以外の研修（児童・生徒、保護者等）

実施期間及び申込方法

実施期間：令和5年5月1日（月）～令和6年3月15日（金）

申込方法：希望日の4週間前までに、研修申込システムより、自主研修サポート仮申込を行う。

- ・5月～8月の依頼は4月3日（月）より、9月～3月の依頼は7月3日（月）より申込受付を開始。
- ・サポート仮申込入力フォームに従い、希望日時や教科・領域、依頼内容の詳細等を記入する。
- ・担当する指導主事から電話で連絡後、詳細を確定し、正式申込を行う。

◇アシストの種類（仮申込時に希望するアシストを選択）

アシスト名	サポート対象
学校アシスト	校内研修や個人研修に関するサポート
若プロアシスト	若手教員早期育成プログラムに関するサポート ・ 校内若手教員研修の講師依頼
若プロ・学校アシスト	校内若手教員研修を兼ねた校内研修に関するサポート
地域アシスト	その他の団体の研修等に関するサポート

◆内容分類（研修申込システムサポート仮申込入力フォームに従って教科・領域を選択してください）

※1 指導主事派遣サポートと同様

□講師及びサポート内容（仮申込入力フォームの希望する内容欄に希望講師名を記入）

名 前	大谷 実	役 職	金沢大学教職大学院 教授
テーマ	学習指導要領で求められる算数・数学科の授業づくり		
対 象	小・中学校の若手教員		
内 容	算数・数学科学習指導要領の重要な改善事項であり、教科の特性でもある「数学的な見方・考え方」、「数学的活動」、「問題発見・解決のプロセス」等を重視した授業改善について演習形式で学びます。		
時間・回数	120分・1回		
可能な時期	8月、9月		

名 前	吉川 一義	役 職	金沢大学教職大学院 教授
テーマ	教育相談と対応の体制づくり		
対 象	小・中・高・特の教職員		
内 容	いじめ・障害・生活の乱れ等、様々な困難や課題の構造を分析し、専門機関との連携を図りながら、問題の改善・解消を目指す教育相談と対応の体制づくりについて学びます。		
時間・回数	時間や回数については、話し合って決定します。		
可能な時期	ご相談に応じます。		

名 前	武居 渡	役 職	金沢大学教職大学院 教授
テーマ	通常学校における特別支援教育の考え方と合理的配慮		
対 象	幼・小・中・高・特の教職員		
内 容	通常学校における特別支援教育の考え方について、発達障害の疑似体験などを通して児童生徒の気持ちになって考え、そのような子どもたちの支援の在り方について考えます。また合理的配慮の考え方について説明し、児童生徒の自己理解の重要性とその支援についても考えます。		
時間・回数	2時間程度		
可能な時期	ご相談に応じます。		

名 前	加藤 隆弘	役 職	金沢大学教職大学院 准教授
テーマ①	これからの授業づくりと「いしかわ学びの指針 12 か条」について		
対 象	小・中の教職員		
内 容	校内研修、ワークショップ形式で実施します。実施校の授業を参観したあと（学校研究テーマに基づく研究授業等が望ましい）それらの授業映像や校内研資料などを元にその学校の取組の概要整理、もしくは対象授業についての分析・協議を行います。その後、県内外各学校の授業実践について検討した上で、今後の授業改善についてさらに深めの討議をします。		
時間・回数	年2回～3回程度継続することが望ましい。		
可能な時期	ご相談に応じます。		

名 前	加藤 隆弘	役 職	金沢大学教職大学院 准教授
テーマ②	効果的な学校研究運営の在り方について		
対 象	小・中の研究主任、研究部など		
内 容	各学校の実際の取組状況を踏まえて、効果的な学校研究運営について協議します。		
時間・回数	年複数回が望ましい。		
可能な時期	ご相談に応じます。		

名 前	加藤 隆弘	役 職	金沢大学教職大学院 准教授
テーマ③	SDGs のための教育・ESD について		
対 象	幼・小・中・高・特の教職員		
内 容	より持続可能な未来を築くため、国連は持続可能な開発目標(SDGs)を示し、私たちが直面する諸課題の解決を目指しています。この課題解決のために必要な力をはぐくむ教育が ESD (持続可能な開発のための教育) です。この講座では SDGs の理念をとらえ、ESD について各地(北陸を中心に)の具体的な取組を踏まえて学び、討議します。		
時間・回数	ご相談に応じます。		
可能な時期	ご相談に応じます。		

名 前	鈴木 瞬	役 職	金沢大学教職大学院 准教授
テーマ	若手教員早期育成プログラムサポート		
対 象	小・中・高・特の教職員(特に、若手研修コーディネーター)		
内 容	各学校の取り組み状況を踏まえ、ワークショップ形式で、効果的な実施方法の在り方について協議します。また具体的な研修を参観し、参加者のヒアリングを行った後、その結果を後日フィードバックします。参観・ヒアリングから見えてくる「若プロ」実施の改善点について、若プロ対象者と若手研修コーディネーター等で、今後の実施方法の検討を行います。		
時間・回数	2時間程度(事前に研修の参観をさせていただきます。)		
可能な時期	ご相談に応じます。		

名 前	本所 恵	役 職	金沢大学教職大学院 准教授
テーマ	教育評価研修		
対 象	小・中・高・特の教職員		
内 容	各学校の取り組みを踏まえ、探究的な学習や、教科学習などでの評価について、ワークショップ形式で協議します。実際の具体的な生徒の作品や学習の様子を参加者が実際に評価し、観点や価値観の違いを明らかにしながら、より良い評価について考えます。		
時間・回数	2時間程度(別途、事前の打ち合わせが必要です)		
可能な時期	ご相談に応じます。		

※講師及び内容の追加については、随時センターweb ページでお知らせします。